＜様式２＞

令和３年度　さいたま市立宮前小学校　学校関係者評価書

さいたま市立宮前小学校
学校関係者評価委員長　　遠藤　健治　　㊞

１　学校関係者評価の実施体制
（１）構成人数
　９名（ＰＴＡ会長１名　ＰＴＡ顧問１名　自治会長１名　幼稚園長１名　主任児童委員１名
　　体育振興会長１名　大宮西警察署生活安全課長１名　青少年育成会顧問１名
　　元さいたま市立学校長１名）

（２）実施回数
　３回　　・令和３年　５月２８日（金）　・委嘱状交付
　　・学校経営方針について
　　・年間行事計画及び学校評価スケジュールについて
　　・いじめ防止基本方針の提示

　　・令和３年１０月２７日（水）　・今年度の学校評価について、協議

　　・令和４年　２月　８日（火）　・今年度の評価結果について
　　・自己評価書について
　　・次年度に向けての改善・方策について、協議

２　学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）
（１）学校評価そのものに関するもの
・今年度から電子による回答となり、集計や分析等の利便性は向上したが、保護者の回答数が減少したことに課題を感じる。
・設問１０『元気に登校している』、設問１３『場や相手に応じた言葉遣いが身に付いている』など、児童と保護者、教職員の回答で差が大きい項目は注視する必要がある。地域の方々の評価も含めてとらえ、意識にずれがあるのはなぜか。そこを精査してもらいたい。
・一人一台タブレットの導入により、様々な理由で学校に行けなくなっている子どもたちも、タブレットを通して学校の授業が受けられるということが分かり、安心した。
（２）いじめ・生徒指導について
・アンケートの結果から、あいさつに課題があることが明確になった。次年度も引き続き、学校の重要課題として取り組んでもらいたい。
（３）その他
・チャレンジスクールは、児童やスタッフの安全を第一に考え、再開に向けて検討していきたい。
・長引くコロナ禍で、子どもたちの体力低下や、学校に足が向かなくなるといったことが起こるのではと心配である。一方で、タブレットの活用が進んだというプラスの面もあった。
・門に取り付けられた看板が老朽化している。目を配ってもらいたい。
・体育の授業を参観したが、先生の声掛けが温かく、とてもよかった。
・コロナ禍における日々の授業では、指導方法の工夫や教具の消毒など、大変な苦労があるかと思う。
・子どもたちが元気に学校に行けることが一番。学年閉鎖の際にオンライン授業を視聴したが、とてもよい取組だと思った。

学校関係者評価を受けた学校の対応
（１）学校評価について
・評価項目の見直し　・分かりやすい表現の工夫　・電子に加え従来の紙媒体での回答を併用　等
（２）コロナ禍における学校からの情報提供について
・ホームページや学校だより等を活用して、学校からの積極的な情報提供を行う。
・授業参観や運動会等の行事についても、内容や方法を工夫することにより、実施に向けて検討していく。
（３）いじめ防止・生徒指導の充実に向けた取組について
・あいさつの励行を重点に掲げ、学校全体で取り組んでいく。
・迅速な初期対応と組織的対応の強化　・教育相談体制の充実　・保護者や地域、外部機関との連携の強化　等

さいたま市立宮前小学校長　　髙田　信太郎　　印

※　Ａ４　１枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。